

人文科学入門Ⅱ (倫理学)

授業概要

1回の基本的な授業構成は、①教員からの講義、②小テスト、となっています。
また、学生（他大学学生も含む）がグループで課題に取り組み、全体に対して発表し、全員で討論する機会を設けます。

授業計画

1. はじめに：倫理学とは何か、および授業の概要
2. 倫理的価値は絶対的か相対的か（1）— 道徳ないし倫理の変動
3. 倫理的価値は絶対的か相対的か
（2）— 絶対的、相対的という語の意味
4. 倫理的価値は絶対的か相対的か（3）— カリクレス対プラトン
5. 倫理的価値の崩落（1）— さまざまな事件
6. 倫理的価値の崩落（2）— 『罪と罰の彼岸』
7. 倫理的価値の崩落（3）— すべては許されるか
8. 倫理的価値の崩落（4）— 被害者と加害者
9. 倫理的価値の亡霊が現れる—（1）スタヴローギンの告白と死
10. 倫理的価値の亡霊が現れる—（2）忘却の穴と無言の声
11. 倫理的価値の亡霊が現れる—（3）まぬけなお人よし、または最もよき人々
12. 倫理的価値とその外側—（1）倫理的価値の重要性
13. 倫理的価値とその外側—（2）倫理的価値の外側
14. 倫理的価値とその外側—（3）存在することの根拠なき肯定
15. おわりに：倫理的価値と存在することの意味

担当教員 *teacher in charge*

後藤 嘉也

北海道教育大学函館校
地域政策グループ 教授



到達目標

1. 倫理的価値の問題に関心をもつ。
2. 倫理的価値と存在することの意味をめぐる問題について理解し、説明できる。
3. 倫理的価値と存在することの意味をめぐる問題について、自分で考えることができる。
4. 倫理的価値と存在することの意味をめぐる問題について、自分の考えを的確に表現できる。

成績評価

到達目標は4つあり、すべての項目について一定の成果を求めます。
(1)毎回の授業で、授業開始時に小テスト（論述式）の問題を提示し、終了前にその問題について解答します（ノート等を見てよい）。このなかで、4項目について評価します。
(2)学期末にレポートを提出します。課題は最終週に伝えます。レポートでは、正しい理解に基づいて（項目2）、しっかり考え（項目3）、的確に表現している（項目4）かどうかを見ます。したがって、コピー＆ペーストのたぐいは厳禁です。
(1)が50%、(2)が50%ですが、どちらか一方でも非常に悪い場合は単位を認めません。